

◎ふるさと文化の館 行事カレンダー

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	△7	○8	9	10	11	12
13	△14	15	16	17	18	19
20	△21	22	23	24	25	26
☆	△28	29	△30			

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	△5	6	7	8	9	10
11	△12	○13	14	15	16	17
18	△19	20	21	22	23	24
25	△26	27	△28	△29	△30	△31

△…休館日 ○…ちびっこおはなし会

☆おのまち図書館フェスティバル

「ちびっこおはなし会」では、乳幼児を対象とした絵本の読み聞かせや手遊びを行っています。

□時間：午前11時から午前11時20分まで □場所：こどもの笑顔ひろば(ふるさと文化の館内)

ふるさと小野町会

ふれあい通信

二人の友人

桜の季節、昭和32年4月、希望に満ちて大学の入学式に臨んだ。学校の掲示板を見ると15組中、女性2人を含む50人の6組に配属されていた。教室に入ると南は沖縄、北は北海道など各地から集まってきており、小生のズーズー弁を筆頭に九州弁、関西弁などいろんな言葉が発せられていた。

隣合わせとなった男性に声を掛けると、静岡出身の河口君ですぐに親しくなった。またどこからか懐かしいズーズー弁が聞こえてきたので、近寄って話しかけると案の定、その人は、双葉高校出身の蒲原君で、同郷の好から親しみを覚えた。

4年間の学業生活を終え、河口君は三井銀行へ、蒲原君は田舎に戻り東邦銀行へ入社した。小生も東邦銀行に合格したが、希望の商社内定が早く決定したため辞退した。もし、東邦銀行からの内定が早かったら蒲原君と同じ職場であった。

河口君は、埼玉県志木市に住んでおり、歌が上手く銀行退職後はカラオケの先生をしている。ふるさと小野町会会員の大杉みゆきさんの店には何度か足を運んでいたらしく、彼女とは小生より



大川原 守

おおかわら・まもる

- 小野山神出身
- 埼玉支部

早くの顔なじみであった。大宮の小野町会会員の小野まち子さんの店にも二人で何回か通い、カラオケに興じたものだ。川柳に【カラオケ会 歌う極楽 聞く地獄】とあるが、彼の歌は聞くも極楽である。彼によるとカラオケの基本は、①歌詞の状況を把握する②言葉は丁寧にはっきりと発音する③息継ぎをしっかりと取る④腹から声を出す⑤歌には語りが多いが語りは歌ってはいけない、語りかけるように心がける⑥歌詞を読んで歌ってはいけない。強弱をつけること、とのこと。

蒲原君は、原発事故により双葉町の自宅には帰還できず、庭の400本のエビネと共に自宅を放棄、今は5回目の引っ越しとなる福島市に住んでいる。

3人はそれぞれの道に進んだが、年に2、3回の会食と、2泊3日の旅行は欠かさない。終生の大切な友人だ。